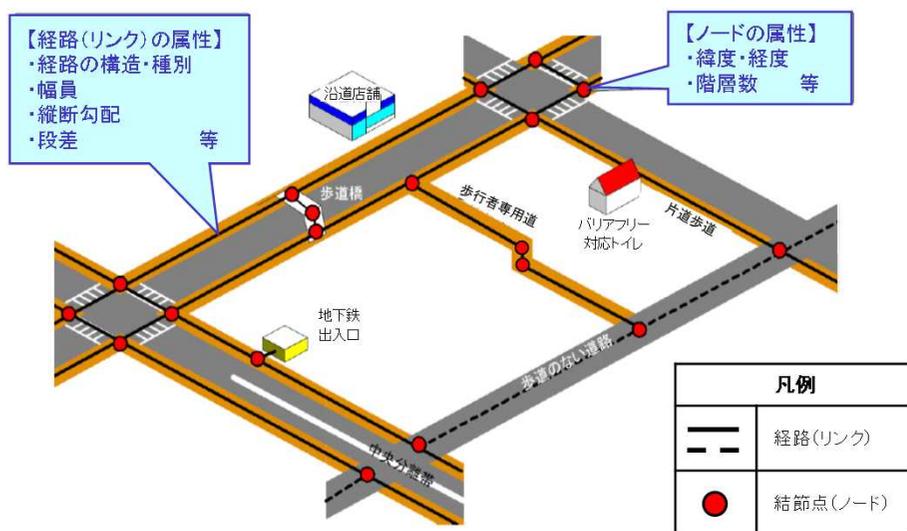


「歩行空間ネットワークデータ」「施設データ」の概要

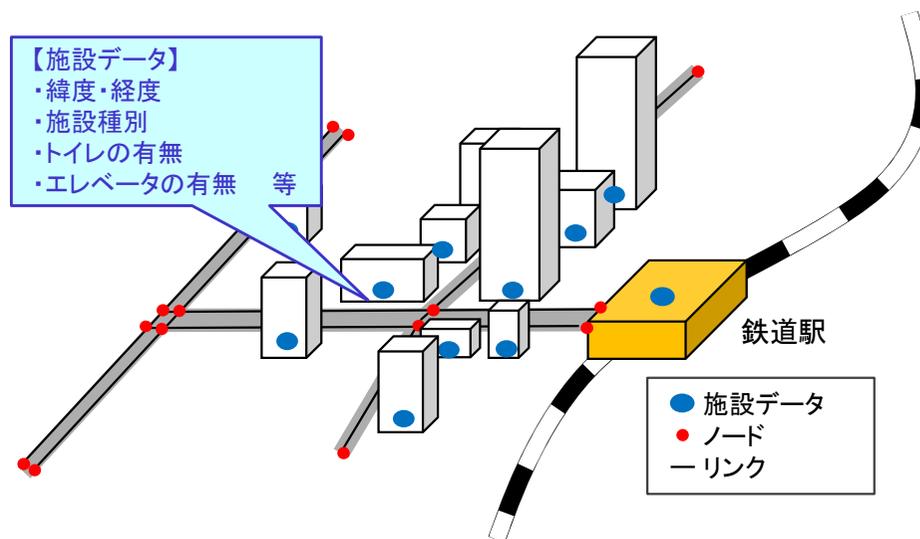
- 歩行空間における段差・幅員・勾配等の情報、建物における多機能トイレやエレベーター等のバリアフリー設備の情報について、ナビゲーションサービスへの利用を想定して、データ化する際の仕様を「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案」(2018.3 国土交通省)として定めています。
- 例えば、歩行空間や建物におけるバリアフリー調査の結果を、本仕様に基づきデータ化することで、車いす利用者向けに段差を回避した経路検索等のアプリケーションに活用できます。

歩行空間ネットワークデータ



「歩行空間ネットワークデータ」とは、歩行空間の形状に合わせてノード(点)とリンク(線)を配置し、属性としてリンク延長や経路の構造・種別のほか、段差や幅員などの情報を持たせてデータ化したもの。

施設データ



「施設データ」とは、施設の位置に合わせてポイントを配置し、属性として位置・名称・住所のほか、バリアフリー設備の種類・有無などの情報を持たせてデータ化したもの。